

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

第1回

未来への責任「エシカル消費」

12 つくる責任  
つかう責任

**皆**さんはどんな基準で買い物をしていますか。私たち消費者の選択が人・社会・環境・地域に常に影響を与えていることをご存じでしょうか。

SDGsの12番目の目標は「つくる責任 つかう責任」です。つまり、持続可能な消費と生産の形態を確保するということです。

例えば、プラスチックごみなどによる深刻な環境破壊にみられるように、生産者も消費者も未来に責任を持つことが求められています。私たちがまずできることとしては、環境などに配慮した買い物（「エシカル（倫理的）消費」）をすることです。商品購入の際、フェアトレード商品や障がいのある人の支援につながる商品、地産地消や被災地産品、エコ

商品、リサイクル商品を選択するなど、できることから始めてみましょう。

浜松市は、フェアトレードをまちぐるみで推進する「フェアトレードタウン」に認定されています。「発展途上国で作られた製品などが安価な値段で取り引きされ、児童労働や環境破壊が起こっていないだろうか」、このような問題に対し、浜松市では皆が笑顔になれる公正な貿易（フェアトレード）の実現を目指しています。

浜松市には、コーヒーやチョコレートなど、多様なフェアトレード商品を扱うお店が多くあります。取扱店は、「はままつフェアトレードマップ」で紹介しています。くらしのセンターで配布しているほか、市ホームページから

もダウンロードできます。

今月はバレンタインデー、来月にはホワイトデーがあります。今年はフェアトレードのチョコレートやクッキーを贈ってみてはいかがでしょうか。



学校給食における市の取り組み  
（フェアトレードの「ごま」を使用）

- ・「いりごま」のふりかけ
- ・「ごま油」を使った豚汁

くらしのセンター（☎457-2635）

市HP ▶ フェアトレード  検索